

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
 このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、
 ご利用いただきたくご案内いたします。
 当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を
 重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほ
 どよろしくお願い申し上げます。

謹白

記

■ 実施日 2021年1月18日(月) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目 コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値 (単位)	備考
4609 5	アルドステロン 〔CLEIA〕 4D115-0000-022-052 4D115-0000-023-052 4D115-0000-004-052	血漿 0.5	PN2, PN5(C) ↓ A00(X)	凍結 (21日)	2~4	125 ※5	CLEIA	4.0~82.1 (pg/mL)	次ページ 以降参照
4751 8		血清 0.5	S09 ↓ A00(X)						
6961 4	レニン濃度 (ARC) 〔CLEIA〕 4Z020-0000-022-052	血漿 0.5	PN2, PN5(C) ↓ A00(X)		2~4			108 ※5	
8029 1	レニン活性 (PRA) 〔EIA〕 4Z010-0000-022-023	血漿 0.7		凍結 (14日)	3~5	100 ※5	EIA 臥位 0.2~2.3 座位 0.2~3.9 立位 0.2~4.1 (ng/mL/hr)		
8038 0	アルドステロン /レニン濃度比 4D122-0000-022-919	血漿 1.0		凍結 (21日)	2~4	125+108 ※5	CLEIA	5ページ目 参照	
8053 4	アルドステロン /レニン活性比 4D120-0000-022-919	血漿 1.2		凍結 (14日)	3~5	125+100 ※5	アルドステロン: CLEIA レニン活性: EIA	6ページ目 参照	

※5: 生化学的検査(Ⅱ)判断料

上記検査の受託開始に伴い、現実施項目の「0045 9: アルドステロン」、「0046 6: 尿中アルドステロン」、
 「5631 5: レニン定量(活性型)」、「0040 2: レニン活性(PRA)」、「6358 8: アルドステロン/レニン
 定量比」、「6357 1: アルドステロン/レニン活性比」は2021年3月31日(水)ご依頼分をもって受託中止いた
 します。



● アルドステロン

アルドステロンは、副腎皮質球状層で産生・分泌される最も強力な鉱質コルチコイドであり、電解質の恒常性・循環血液量・血圧の維持に重要な役割を果たしています。アルドステロンの分泌は、レニン-アンジオテンシン系、ACTH、血中カリウム濃度によって調整されています。

本検査項目は、日本内分泌学会の方針に基づいた、標準化対応試薬を採用しています。原発性アルドステロン症をはじめとした高血圧疾患、腎疾患、浮腫性疾患などの診断と鑑別に有用です。

▼検査要項

新規受託開始項目			現実施項目		
検査項目名	アルドステロン〔CLEIA〕				
項目コード	4609 5		4751 8		
検体量	血漿 0.5 mL	血清 0.5 mL	蓄尿 1.5 mL	血漿 0.5 mL	血清 0.5 mL 蓄尿 1.5 mL
容器	PN2, PN5 (C) ↓ A00 (X) ポリスピッツ	S09 ↓ A00 (X) ポリスピッツ	A00 (X) ポリスピッツ	PN2, PN5 (C) ↓ A00 (X) ポリスピッツ	S09 ↓ A00 (X) ポリスピッツ U00 (Y)
保存方法	必ず凍結保存してください				
所要日数	2~4日		5~7日		
検査方法	CLEIA				
基準値	4.0~82.1 (pg/mL)		1.0~19.3 (ug/day)		
検査実施料	125点 (「D008」内分泌学的検査「14」)				
判断料	144点(生化学的検査(Ⅱ)判断料)				
備考	蓄尿剤として塩酸 およびC-ペプチ ド安定化剤を使用 しないでください。				

●留意事項

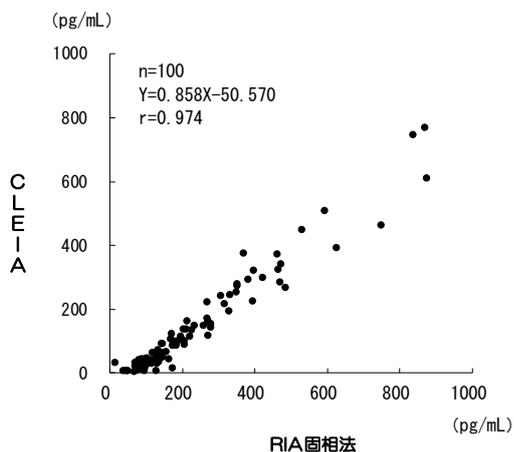
- ・採血時間は午前が推奨されています。
- ・採血は座位で15分間安静後をお勧めいたします。

●参考文献

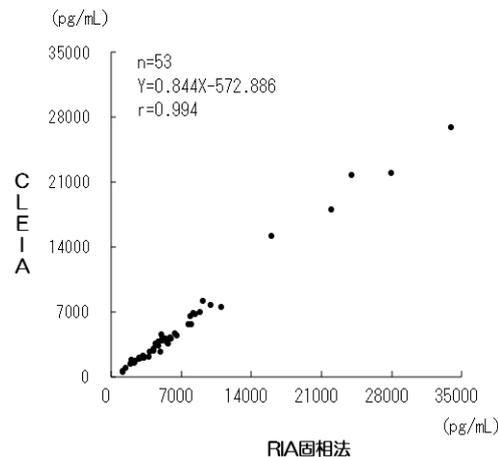
- 佐藤 文俊, 他: 医学と薬学 76 (12) : 1819~1826, 2019. (検査方法参考文献)
 猿田 享男: 日本臨床 63 (増) : 328~331, 2005. (臨床的意義参考文献)
 猿田 享男: ホルモンと臨床43 (増) : 65~72, 1995. (臨床的意義参考文献)

●相関

血漿・血清



尿



● レニン濃度（ARC）・レニン活性（PRA）

レニンは腎臓の傍系球体細胞で産生されるプロテアーゼであり、血中では活性型または不活性型（プロレニン）として存在します。活性型レニンはアンジオテンシノーゲンをアンジオテンシンⅠに変換し、レニン-アンジオテンシン-アルドステロン系を介して電解質の恒常性、循環血液量、血圧の維持に重要な役割を果たしています。

活性型レニン濃度の測定は、原発性アルドステロン症や腎血管性高血圧症などの二次性高血圧の診断と鑑別に有用です。

▼検査要項

	新規受託開始項目	現実施項目
検査項目名	レニン濃度（ARC）〔CLEIA〕	レニン定量（活性型）
項目コード	6961 4	5631 5
検体量	血漿 0.5 mL	冷却遠心 血漿 0.5 mL
容器	PN2, PN5 (C) ↓ A00 (X) ポリスピッツ	PN2, PN5 (C) ↓ A00 (X) ポリスピッツ
保存方法	必ず凍結保存してください	必ず凍結保存してください
所要日数	2~4日	2~5日
検査方法	CLEIA	RIA固相法（IRMA）
基準値	2.21~39.5 (pg/mL)	随時 3.2~36 臥位 2.5~21 立位 3.6~64 (pg/mL)
検査実施料	108点 （「D008」内分泌学的検査「11」）	108点 （「D008」内分泌学的検査「11」）
判断料	144点（生化学的検査（Ⅱ）判断料）	144点（生化学的検査（Ⅱ）判断料）
備考		

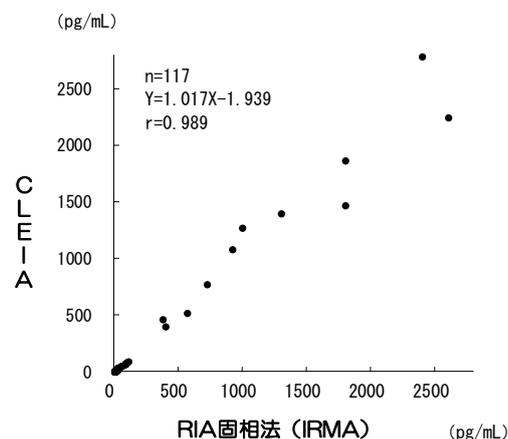
●留意事項

- ・採血時間は午前が推奨されています。
- ・採血は座位で15分間安静後をお勧めいたします。
- ・冷蔵保存した場合、レニン濃度の上昇が認められます。

●参考文献

- 佐藤 文俊, 他: 医学と薬学 76 (12) : 1827~1832, 2019. (検査方法参考文献)
 沖 隆, 他: ホルモンと臨床 42 : 1091~1094, 1994. (臨床的意義参考文献)

●相関



▼検査要項

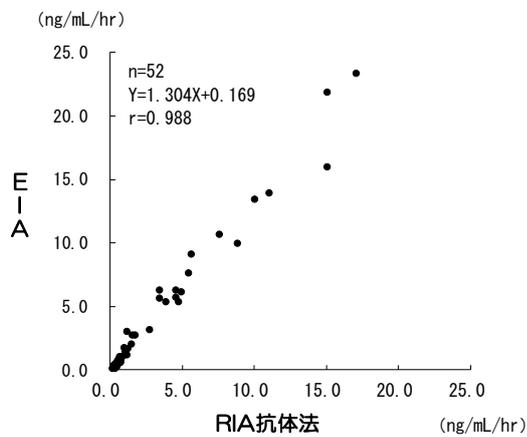
	新規受託開始項目	現実施項目
検査項目名	レニン活性 (PRA) [EIA]	レニン活性 (PRA)
項目コード	8029 1	0040 2
検体量	冷却遠心 血漿 0.7 mL	冷却遠心 血漿 0.3 mL
容器	PN2, PN5 (C) ↓ A00 (X) ポリスピッツ	PN2, PN5 (C) ↓ A00 (X) ポリスピッツ
保存方法	必ず凍結保存してください	必ず凍結保存してください
所要日数	3~5日	3~5日
検査方法	EIA	RIA2抗体法
基準値	臥位 0.2~2.3 座位 0.2~3.9 立位 0.2~4.1 (ng/mL/hr)	臥位 0.3~2.9 立位 0.3~5.4 (ng/mL/hr)
検査実施料	100点 (「D008内分泌学的検査「7」)	100点 (「D008内分泌学的検査「7」)
判断料	144点 (生化学的検査 (Ⅱ) 判断料)	144点 (生化学的検査 (Ⅱ) 判断料)
備考		

●参考文献

宇津 貴央, 他: 医学と薬学 73 (3) : 311~321, 2016. (検査方法参考文献)

Kunihide Hiramatsu, et al: Arch intern Med-Vol141 : 1589~1593, 1981. (臨床的意義参考文献)

●相関



● アルドステロン/レニン濃度比・活性比

二次性高血圧の主な原因とされる原発性アルドステロン症（primary aldosteronism : PA）は、高血圧において約5%を占めることが報告されています。

日本内分泌学会「原発性アルドステロン症（PA）診断の手引き」ではPAのスクリーニング検査として血漿活性型レニン濃度（ARC）または血漿レニン活性（PRA）と血漿アルドステロン濃度（PAC）との比が指標とされています。

▼検査要項

	新規受託開始項目	現実施項目
検査項目名	アルドステロン/レニン濃度比	アルドステロン/レニン定量比
項目コード	8038 0	6358 8
検体量	血漿 1.0 mL	血漿 1.0 mL
容器	PN2, PN5 (C) ↓ A00 (X) ポリスピッツ	PN2, PN5 (C) ↓ A00 (X) ポリスピッツ
保存方法	必ず凍結保存してください	冷却遠心 必ず凍結保存してください
所要日数	2~4日	2~5日
検査方法	CLEIA	RIA固相法
基準値	下記参照	下記参照
検査実施料	125点+108点 （「D008」内分泌学的検査「14」） （「D008」内分泌学的検査「11」）	125点+108点 （「D008」内分泌学的検査「14」） （「D008」内分泌学的検査「11」）
判断料	144点（生化学的検査（Ⅱ）判断料）	144点（生化学的検査（Ⅱ）判断料）
備考	基準値は原発性アルドステロン症診断の cutoff 値です。濃度比のアルドステロンはRIA相当値で計算いたします。	

●留意事項

- ・採血時間は午前が推奨されています。
- ・採血は座位で15分間安静後をお勧めいたします。
- ・冷蔵保存した場合、レニン濃度の上昇が認められます。

●基準値

	新規受託開始項目	現実施項目
アルドステロン [CLEIA] (pg/mL)	4.0~82.1	随時 35.7~240 臥位 29.9~159 立位 38.9~307
レニン濃度 (ARC) [CLEIA] (pg/mL)	2.21~39.5	随時 3.2~36 臥位 2.5~21 立位 3.6~64
アルドステロン/レニン濃度比	40以下	40以下

●参考文献

日本高血圧学会：高血圧治療ガイドライン2019：185~190，2019。（臨床的意義参考文献）

▼検査要項

新規受託開始項目	
検査項目名	アルドステロン/レニン活性比
項目コード	8053 4
検体量	冷却遠心 血漿 1.2 mL
容器	PN2, PN5 (C) ↓ A00 (X) ポリスピッツ
保存方法	必ず凍結保存してください
所要日数	3~5日
検査方法	アルドステロン：CLEIA レニン活性：EIA
基準値	下記参照
検査実施料	125点+100点 (「D008」内分泌学的検査「14」) (「D008」内分泌学的検査「7」)
判断料	144点(生化学的検査(Ⅱ)判断料)
備考	基準値は原発性アルドステロン症診断のカットオフ値です。活性比のアルドステロンはRIA相当値で計算いたします。

現実施項目	
アルドステロン/レニン活性比	
6357 1	
冷却遠心 血漿 0.8 mL	
PN2, PN5 (C) ↓ A00 (X) ポリスピッツ	
必ず凍結保存してください	
3~5日	
アルドステロン：RIA固相法 レニン活性：RIA2抗体法	
下記参照	
125点+100点 (「D008」内分泌学的検査「14」) (「D008」内分泌学的検査「7」)	
144点(生化学的検査(Ⅱ)判断料)	

●留意事項

- ・採血時間は午前が推奨されています。
- ・採血は座位で15分間安静後をお勧めいたします。

●基準値

	新規受託開始項目
アルドステロン [CLEIA] (pg/mL)	4.0~82.1
レニン活性 (PRA) [EIA] (ng/mL/hr)	臥位 0.2~2.3 座位 0.2~3.9 立位 0.2~4.1
アルドステロン/レニン活性比	200以下

現実施項目	
随時	35.7~240
臥位	29.9~159
立位	38.9~307
臥位	0.3~2.9
立位	0.3~5.4
200以下	

●参考文献

日本高血圧学会：高血圧治療ガイドライン2019：185~190，2019。（臨床的意義参考文献）